

# 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院・昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

MR 画像の深層学習・Radiomics 解析から導く感染性椎体炎・椎間板炎と変形性脊椎症の鑑別診断予測モデルの構築

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2013年1月から2024年12月までの約12年間で、昭和大学横浜市北部病院・昭和大学病院で感染性椎体炎・椎間板炎もしくは変形性脊椎症と診断された患者さん

## 2. 研究目的・方法

感染性椎体炎・椎間板炎は不明熱・腰痛・背部痛などの非特異的な訴えが多く、診断に難渋することがあります。脊椎MRIが撮影されますが、椎体炎・椎間板炎の早期では椎体椎間板変性（変形性脊椎症）と診断困難ことがあります。画像所見・テクスチャー特徴量などのMR画像データを用いて後ろ向きに解析することや、閉鎖されたクラウドを用いた人工知能を用いてMR画像を深層学習させることで、診断モデル・予後予測モデルのアルゴリズムを開発し、今後の放射線診療に役立たせることを考えています。画像の収集・解析は昭和大学横浜市病院放射線科が担当します。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年12月30日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、臨床症状、既往歴）および臨床検査項目（血液、生化学、細菌培養、MRI検査）

## 5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院、昭和大学病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学横浜市北部病院および昭和大学病院放射線科（提供元）から昭和大学横浜市北部病院放射線科（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

## 6 . 研究組織

### 研究責任者

研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 放射線科 竹山信之

### 分担研究者

研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 放射線科 渡邊孝太

昭和大学横浜市北部病院 放射線科 藤澤英文

昭和大学病院 放射線科 宗近次朗

昭和大学病院 放射線科 扇谷芳光

昭和大学医学部 放射線医学講座 村上幸三

昭和大学横浜市北部病院 放射線科 村瀬悠也

## 7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：昭和大学横浜市北部病院放射線科

氏名：竹山信之

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000